

## 東日本大震災被災地復興支援事業および自主事業などに対するご寄付のお願い

### 認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

東日本大震災の被災地復興のため特定非営利活動法人環境パートナーシップいわては、さまざまな支援活動を実施しています。

「海岸林再生プロジェクト」「着物リメイク支援プロジェクト」「BDFの活用を広げるプロジェクト」「アイーナ夜学」などが被災地支援にかかわる活動です。この他に岩手のすぐれた環境を次の世代に贈るための「夢灯りキャンドルナイト」「キッズISO支援プロジェクト」などの自主事業があります。皆様のご寄付をこれらの活動に活用させていただきたくお願い申し上げます。

当法人は岩手県より2016年8月29日認定NPO法人として承認されました。皆様からのご寄付は、税法上の優遇措置を受けることができます。当法人から送付されます寄付金受領証明書を確定申告の際にご利用ください。

#### 個人の場合のご寄付

ご寄付支出額から2,000円を控除した額を寄付者のその年分の所得金額合計額から控除できます。

#### 法人の場合のご寄付

ご寄付は、その年の損金算入限度額の範囲内で損金算入ができます。

ご寄付は下記の銀行口座、郵便振替にてお受けしております。

事務局にご連絡いただければ、振込手数料不要の郵便局の振替用紙をお送りいたします。また郵便局に備え付けの振込手数料不要の赤色の振込用紙に下記の郵便振替番号 02260-0-38661 などをご記入になりご利用いただくことも可能です。

○岩手銀行 盛岡駅前支店 普通 2066022

名義人 特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて  
代表理事 野澤日出夫

○ゆうちょ銀行 店名 八三八 普通預金 1915127

名義人 特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

○郵便振替 02260-0-38661 加入者名 特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

ご寄付に関するお問い合わせは下記までお願いいたします

認定特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて  
環境学習交流センター・岩手県地球温暖化防止活動推進センター  
事務局 櫻井 則彰 Noriaki Sakurai  
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 アイーナ5階  
TEL : 019-681-1904 FAX : 019-681-1906  
E-MAIL : kanpai@utopia.ocn.ne.jp

## 特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが実施する被災地支援事業など

### 1. 被災地支援事業

#### □ 「海岸林再生プロジェクト」

震災により失われた海岸林を再生するため、地元の環境保全団体などと連携し、海岸林再生プロジェクトを2016年から始めています。関連する事業としてビオトープフォーラム（大槌町）、気仙環境フォーラム（大船渡市）などを開催しています。



#### □ 「着物リメイク支援プロジェクト」

被災地仮設住宅に暮らす人たちのコミュニケーションの増大を図るため2012年から始まりました。閉じこもりがちな仮設住宅住民を活動の環の中に引き込み、使われていなかった和服を洋服にリメイクする試みは、物を大切に作る人たちに受け入れられ拡大しています。作られた製品を販売レベルまで引き上げ、地元の人たちの仕事にできるよう自立を目指します。



#### □ 「BDF（バイオディーゼル燃料）の活用を広げるプロジェクト」

地域のエネルギー資源を地域のなかで活用する。廃食油を回収しこれを車の燃料や暖房用のボイラー熱源とする。環境を守りエネルギー供給体制に風穴を開けるBDFの活用を広げるプロジェクトは、生協、農業事業者、農業研究センター、大学、ボイラー製造業者、運送事業者など多くの企業、自治体をなどの協力を得ながら進行中です。



#### □ 「アイーナ夜学」

エコロジカルフットプリント（地球1個分の暮らし）、こんなにエネルギーを使えば地球がいくらあっても足りない。エネルギーをどんどん作り使う時代は終わろうとしています。地域のために市民が共同で作るエネルギーが重要です。アイーナ夜学は、被災地でのエネルギー自立を目指す各種の提言を行います。

### 2. 自主事業に対する支援

#### □ 「夢灯りキャンドルナイトプロジェクト」

電気を消してスローなライフスタイルを目指す。エネルギー多消費型の暮らしではない地産地消による自分たちの暮らし。本当の幸せとは何か、そんなことにも思いをはせる。節電、省エネ行動を啓発する「夢灯りキャンドルナイトプロジェクト」は、夏至と冬至の年2回ロウソクの灯りのもとで開催されています。



#### □ 「キッズISO支援プロジェクト」

環境教育を早くから始めることは、よりよい環境を作るために大切です。子どもたちがエネルギーの使い方を自ら立てた目標と行動で実践します。PDCAサイクル（計画・実行・点検・改善）を廻し子どもたち自身が考え、次の目標と行動につなげていきます。環境教育の原点を子どもたちが探る新たなエネルギー教育です。



### 3. 特定非営利活動全般にわたる支援

#### □ 「特定非営利活動全般」

環境パートナーシップいわてが特定非営利活動を行うため企画・運営・連絡・調整業務などに対する支援です。

いづれのご支援も、ご寄付は3,000円以上を1口としてお願いいたします。寄付金受領証明書をお送りするためご氏名、ご住所は必ずお知らせ下さい。どの分野のご支援かを□マークに✓でお知らせください。

ご住所 \_\_\_\_\_ ご氏名 \_\_\_\_\_

ご寄付の金額 [ \_\_\_\_\_ ]円 ご連絡事項 \_\_\_\_\_

いただきました個人情報は厳守いたします。